

『糖尿病療養指導ガイドブック 2023』（第1刷）

正誤表

本書に下記の誤りがございました。お詫びし謹んで訂正いたします。

p.45 表3

【誤】

	特定健診			特定保健指導の対象者		特定保健指導の終了者	
	対象者数	受診者数	実施率	対象者数	対象者割合	終了者数	実施率
2020年度	54,183,746	28,939,947	53.4%	5,225,668	18.1%	1,186,047	22.7%

【正】

	特定健診			特定保健指導の対象者		特定保健指導の終了者	
	対象者数	受診者数	実施率	対象者数	対象者割合	終了者数	実施率
2020年度	54,183,746	28,939,947	53.4%	5,225,668	18.1%	1,200,740	23.0%

p.57 本文左段下から12～15行目

【誤】 一般的には、指示エネルギー量の40～60%を炭水化物から摂取し、タンパク質は20%まで、残りは脂質で摂取するのがバランスのよい比率とされている^{注3)}。

【正】 一般的には、指示エネルギー量の40～60%を炭水化物から摂取し、タンパク質は20%未満、残りは脂質で摂取するのがバランスのよい比率とされている^{注3)}。

p.91 本文左段上から3行目

【誤】 インスリン療法の絶対的適応は表11（V章-3-A-1：75頁）を参照。

【正】 インスリン療法の絶対的適応は表10（V章-3-A-1：75頁）を参照。

p.175 本文右段上から10～12行目

【誤】 ②高齢者は、頭がくらくらする、体がふらふらするなどの中枢神経症状を中心とした典型的な低血糖症状を示すことが多い。

【正】 ②高齢者は、頭がくらくらする、体がふらふらするなどの中枢神経症状を中心とした非典型的な低血糖症状を示すことが多い。

p.209 本文右段上から6～8行目

【誤】 タンパク質摂取量は一般的な糖尿病の食事基準にしたがって20%以下とする。

【正】 タンパク質摂取量は一般的な糖尿病の食事基準にしたがって20%未満とする。